



2026年
10月1日発行

第201号

愛知3区(昭和区・緑区・天白区) 地域版

連絡先: 21世紀の国づくりを考える会
代表 近藤昭一

〒468-0058 名古屋市天白区植田西3-1207
TEL:052-808-1181 FAX:052-800-2371

中道改革連合の分党を機に もう一度、旗を掲げ直す！

何が起きたのか

8月31日、中道改革連合、立憲民主党、公明党の党首会談で三党合流の見送りが確認された。中道改革連合は9月16日、所属議員48人の離党を確認。立憲出身議員は新党「民主改革の会」(代表・小川淳也氏)を結成し、公明出身議員は公明党に復党。両党は清算のために残る中道改革連合と衆院で統一会派「中道」を結成する方針となった。

中道改革連合は、高市政権に対峙し政権交代の受け皿となることを掲げて結党されたが、およそ8カ月でその枠組みは事実上解体した。ご支援いただいたすべての方にお詫びを申し上げたい。とりわけ立憲民主党を支持してくださっていた方々には戸惑いや距離を感じさせてしまったと思う。重く受け止めている。



中道が向き合わなければならなかった課題

第一に、国家情報会議設置法や皇室典範改正法への賛成など、野党としての歯止め役を果たせなかった。第二に、新潟県知事選、また沖縄県知事選で玉城デニー氏不推薦など本来取るべき立場を取れなかった。第三に、格差が広がる中、「普通に働けば安心して暮らせる社会」の姿を、十分に示せていなかった。

5月25日に自らに誓ったこと

中道改革連合の惨敗の責任の一端は私にもある。組織の大きさを優先し、立憲民主党を立党した時の精神を見失ったことを深く反省している。私は5月25日、SNSでリベラルの旗をもう一度掲げ直すことを自分自身に誓った。

新たな道へ

大切なのは組織の大きさではない。どのような社会を目指すのか、その姿を明確な「旗」として掲げ、市民の皆さんと手をつなぎ直すことだ。立憲民主党は、先の国会でも基本理念を曲げることなく、結束して高市政権に対峙した。私は再び仲間と一緒に、立憲民主党が掲げた政策と理念の実現のために頑張りたい。ただ、中道で一緒に頑張った立憲民主党の仲間が新党を作る。まずはここで、しっかりとリベラルの旗を立ててもらいたい。

憲法と平和を守り、誰もが安心して暮らせる社会を作るために、もう一度立ち上がる。その覚悟を持って新たな道を歩んでいきたい。

2026年10月1日

前衆議院議員 近藤昭一

～あたたかい政治へ、もう一度～

先の国会を振り返って ——

○「強さ」の中身を問う

高市さんが女性初の首相となったとき、多くの方が期待したのは「決断力」や「強さ」だったのではないのでしょうか。しかし、強引に物事を進める力と、暮らしの課題に正面から向き合う力は別のものです。先の国会では、国民生活に直結する課題への対応よりも、政権が進めたい政策を押し通す場面が目立ちました。

○憲法によって国家権力を縛る

——今こそこの原則を！

この原則を、いま改めて大切にしなければならないと思います。再審法、国家情報会議設置法、国旗損壊罪など、私たちの権利や自由に関わる法案も相次ぎました。特に、国家情報会議設置法については、個人の尊厳やプライバシーを守る独立したチェック機関が設けられていません。秋の国会で議論が進むスパイ防止法についても、「誰がスパイなのか」を権力側が判断することになれば、自由な市民活動や表現を萎縮させる危険があります。

○本当の「強さ」とは

強さとは、異論を押し切ることはありません。生活の不安に正面から向き合い、困っている人のために動くこと。それこそが政治に求められる「強さ」だと私は思います。皆さんの声を国政に届け、憲法と平和を守り、誰もが安心して暮らせる社会をつくるために、これからも声を上げ続けます。

○ジェンダー・ギャップに向き合う

2026年版の世界経済フォーラム「ジェンダー・ギャップ指数」で、日本は145カ国中117位、政治分野では121位とされています。一人ひとりの尊厳が大切にされ、誰もが自分らしく生きられる社会をつくる必要があります。



東京都立産業技術研究センターで話を聞きました。

暮らしを直撃するエネルギー危機

○「第二次石油ショック」の足音

——イラン情勢とどう向き合うのか

石油ショックの危険性が現実のものとなりつつあります。金子勝・慶應義塾大学名誉教授との勉強会でも、米国のイラン政策がもたらすエネルギー危機について強い警鐘が鳴らされました。

ホルムズ海峡の情勢が緊迫し、原油価格が上昇し続ければ、日本の暮らしに大きな影響が及びます。日本は原油の多くを中東地域に依存しています。原油高に円安が重なれば、ガソリンだけでなく、電気・運送・食品など幅広い分野で価格上昇につながります。

政府はガソリン補助金などで対応していますが、価格を一時的に抑えるだけでは根本的な解決にはなりません。

○外交によって危機を回避する

日本には、イランと歴史的に良好な関係を築いてきた外交資産があります。だからこそ、対立を深めるのではなく、対話によって緊張を緩和し、船舶の安全な通過を実現する外交努力が必要です。私は、議席の有無にかかわらず、野党の立場からイランとの対話の道を模索する活動を続けています。

○署名活動にも取り組んでいます。

「イランとの友好的外交による船舶通過の実現を求めます」

ぜひこちらからご協力ください。

QRコード→

<https://c.org/rrCvdygrGD>



9月25日、イラン署名活動に取り組む仲間とともに、外務省・防衛省の担当者から説明を受けました。

浜岡原発の不正申請 民主党政権がつくった規制委員会の独立性

○「推進と規制の分離」が果たした役割

浜岡原子力発電所の再稼働審査をめぐり、中部電力による不正な申請が明らかになりました。

今回の不正を厳しく指摘したのが原子力規制委員会です。福島第一原発事故を受け、推進する部署と規制する部署を分離し、独立した規制体制をつくったことが、今回の不正を糾す力になりました。

私自身は、当時の与党(民主党)・環境委員会筆頭理事として、原子力規制委員会の発足や「40年ルール」などに取り組みました。しかし、その後、自民政権によって運転期間の規定が変更され、60年を超える運転が事実上可能となっています。

○原発ゼロ・再生可能エネルギー100%

この旗を曖昧にすることなく、規制の独立性を守り、再生可能エネルギーを広げていきたいと思えます。

命と生活を守る政治へ

○防災庁始動にあたって

1995年の阪神・淡路大震災。私は発災から一週間後に現地に入り、仮設住宅にも泊まりました。

2000年の東海豪雨では、地元・名古屋で自らも被災しました。その経験を胸に、河川整備や排水設備の強化などに取り組んできました。

その後も東日本大震災、熊本地震、能登半島地震など、各地の災害現場を訪れ、被災された方々の声を政治の場に届けてきました。

そして、防災・減災を一元的に担う防災庁が始動します。これは到達点ではなく、新たな出発点です。東日本大震災から長い年月が経った今も、避難所の環境などの改善すべき課題が残されています。

○命と生活を守ること

——それこそが政治の最も基本的な役割です
災害に強いまち・社会をつくるとともに、万が一災害が起こった時にも、一人ひとりが安心して避難し、生活を立て直すことができる支援体制を整えることにこれからも取り組みます。

「政治は自分に何をしてくれるのか」

○一生懸命働いても賃金が上がらず、将来の見通しが立たない

「政治は自分に何をしてくれるのか」と感じる全ての声に、政治は向き合わなければなりません。

○仕事と賃金をつくる

日本が強みを持つ環境技術や再生可能エネルギーなど、これからの成長分野に力を入れ、働く人の賃金を引き上げていく。最低賃金の早期の全国一律1,500円以上への引き上げも、その土台です。

○支え合う社会保障

病気やけが、老後を迎えたときに支えてくれる社会保障があつてこそ、安心して働き続けることができます。若い世代も暮らしと社会保障を切り離して考えることはできません。

○学びをあきらめさせない

家庭の経済状況によって教育の機会が左右されない社会へ。奨学金の負担軽減や高等教育の無償化を進め、一度失敗しても学び直し、やり直せる仕組みを整えます。



若い皆さんとの「コンちゃんとおしゃべり会」第2回を開催。前回に引き続き、日本国憲法を読んで意見交換を行いました。



9月12日、緑区のNPO法人風の会さんの総合防災訓練に参加しました。

◇近藤昭一の最近の活動—地元活動が主ですが、時に東京にも出かけています。



7月4日、第34回立憲カフェを開催。近藤昭一が基調講演したのち、参加者の皆さんと活発な意見交換をしました。



8月6日、悲惨な歴史を二度と繰り返さないという強い決意を未来へ継承。熱田・宮の渡し平和のタペ開催。



昭和・緑・天白区内各所で行われた夏祭り、盆踊りに参加しました。



8月26日、平和を考える映画会として、「沖縄パイ戦史」を上映。



8月27日、沖縄に応援に行ってきました。沖縄を戦場にしない、暮らしを守る—この流れを止めないことが重要です。



9月5日、クローズアップ国会（特別国会についての学習会）を行いました。現在の国会状況について話し合いました。

前衆議院議員 近藤昭一プロフィール

1958年、名古屋出身。千種高校、上智大学卒。中日新聞社を経て、1996年衆議院議員初当選後10期連続当選。環境副大臣、衆議院総務委員長や環境委員長、立憲民主党代表代行等を歴任。立憲フォーラム代表、原発ゼロ・再エネ100の会共同代表など務め、2026年衆院選で惜敗。現在も地域に根ざした政治活動を続けています。

現在：21世紀の国づくりを考える会代表、東アジアの平和を考える会代表。

イベントのご案内

どなたでもお気軽にご参加ください！

○コンちゃんとおしゃべり会

10代 20代 30代みんなで話そう！

10月31日(土)14:00～16:00 近藤昭一事務所

○第35回立憲カフェ

初めての方も参加できます。カフェにいるような感じで
行う意見交換会です。要参加費

11月1日(日)14:00～16:00 近藤昭一事務所

○みんなの社会見学

今回は、障がい者の皆さんが運営する点心屋さんで
話を聞き、餃子・焼売で会食です。

11月21日(土)12:00～ 要参加費

○コンちゃんもっと自由トーク

12月6日(日)15:00～17:00 近藤昭一事務所

他にも様々なイベントを企画中です。

それぞれのイベントの詳細はホームページやSNSで発信していますのでご確認ください。事務所までお問い合わせをお願いします。

【お知らせ】

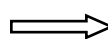
公式ライン配信中

メールマガジン配信中



それぞれ QRコードをお読みいただき
必要事項ご記入の上、送信ください。

ネット献金ができる
ようになりました。



近藤昭一の最新情報はこちら！



左のQRコードを、スマホで読みとってください。Facebook、X(旧Twitter)、Instagram、YouTubeの各種SNSに接続できます。

近藤昭一事務所

名古屋市天白区植田西3-1207

TEL:052-808-1181 FAX:052-800-2371

Email: konchan@kon-chan.jp

法律相談受付中！詳細は近藤昭一事務所まで！